

Jacque de Micas (ジャック・ド・ミカ) 氏のプロフィール

M. Jacques de Micas :

ジャック・ド・ミカ氏は1963年以來、国際リンパ学会やフランス静脈学会・リンパ学会において、Foldi 教授(Feldbergklinik, Felberg-R.F.A)、Cluzan 医師(hôpital privé Cognacq-Jay, Unité de lymphologie)、Desprez-Curely キュリー博士(Hôpital saint Louis Paris)、Collard 教授(université libre de Bruxelles)、Casley-Smith 教授(University of Adelaide- Australia)、Barsotti 医師(C.H.U. hôpital Trousseau-Tours France) 達と臨床検討を交えながら、DLM の進化発展に多大な貢献をした、フランスを代表する DLM 指導者です。ヨーロッパの DLM 手技の進化を牽引、更に技術者の社会的地位を安定させた、フランス保健省認定の DLM 技術者育成者です。

《 取得手技 》

1962年 理学療法士

1970年 フランス式 オステオパティ。

Dr.Jean Valnet(ジャン・バルネ)からアロマセラピー。

リヨンの Dr.Nogier(ノジエ)と Jarricot(ジャリコ) からリフレクソロジー。

1974年～ Vodder 式、Leduc 式、Foldi 理論など代表的な DLM。

1980年以降 DVTM 実施